

市民代表の皆さんと 第1回検討会議を実施しました

様々な肩書きの地域住民の皆様を委員として、今後の公共施設の方針について1回目の話し合いを実施しました。



地域住民から選任された9名の委員の皆さんに集まっていただき、第1回検討会議を実施しました。

現在、但東地域の公共施設の見直しを検討している経緯を説明した上で、これまで実施してきた建物調査の結果やワークショップで出た意見等を、共有しました。

右記のような質問や意見をいただきました。

- 耐用年数や老朽化は他の地域でも同じようなものか
- 改修や修繕をしても、また20～30年後に改修が必要になるのではないか。いっそ建て替えた方が良いと感じた
- 廃止された施設の跡地利用についての検討も必要。使われなくなった公共施設が廃墟となって地域にそのまま残ることを懸念している
- 医療機関を学校の敷地内に入れることは可能か
- 但東健康福祉センターに他の機能を集約すると検診等で使いづらくなるのではないか

今後も検討会を重ね、但東地域の公共施設のあり方を検討します。

今後の予定

市民ワークショップ

■ 「みんなで考えるこれからの但東の公共施設」

日 程 | 2026年7月26日 (日)

時 間 | 10:00～12:00

場 所 | 但東健康福祉センター

運 営 | Roof&keel共同事業体 (受託事業者)

主催・お問い合わせ | 豊岡市役所 但東振興局 地域振興課

どなたでも参加いただける場として今回のワークショップを開催します。ぜひ参加いただき、自由な意見をお聞かせください。



参加申込はこちら

NEWS LETTER Vol.1

但東地域の公共施設のあり方を検討中

これまでの取り組みや現在の状況をお知らせします！

2026/6/22発行



但東中学校3年生のワークショップの様子

これまでの経緯

『この事業では但東庁舎周辺の施設について検討を行っています』

但東地域では、公共施設の老朽化や人口減少を背景に、今後の施設のあり方について検討を進めています。令和3年度（2021年度）には地域デザイン懇談会を開催し、地域に必要な機能やサービスについて住民とともに議論を重ねてきました。令和7年度（2025年度）には建物の簡易診断や地域でのワークショップ、機能集約や統合の検討を実施し、現状把握と課題整理を行いました。これらの取り組みを踏まえ、より持続可能で使いやすい公共施設の実現に向けた検討を実施しています。

予告

7月26日には / 市民ワークショップ
「みんなで考えるこれからの但東の公共施設」
を開催します。

但東地域の公共施設のあり方検討のためのワークショップを開催しました！

市民と行政が一体となって考えるためのワークショップを開催しました。

参加者が自由に述べた意見をファシリテーターに書き出してもらいながら、出てきた意見からさらに情報を膨らませ、但東地域の公共施設をどのようにしていくことが地域に暮らす市民として便利で、使いやすく、将来世代へつないでいけるのかを考えました。

皆さんの意見と考える

- 公共施設の見直し・集約は必要 → 小さくても使いやすい施設にしていくべき
- 減らすだけでなく便利で魅力ある拠点 → 手続き・福祉・買い物などが1か所で済む
- 子ども・若者の居場所が必要 → 若い世代が地域に残りたくなる環境づくりが必要
- 高齢者が安心して使える施設 → 福祉・介護・医療機能は地域内に残してほしい
- 学校施設の有効活用に期待 → 図書館や子育て機能を学校周辺に集約してはどうか
- 交通・移動手段の確保が重要 → 公共交通・送迎・移動支援とセットで考えるべき
- 費用対効果・維持管理も重視すべき → 維持管理しやすいシンプルな施設がよい
- 但東らしさ・活性化につなげたい → 維持管理しやすいシンプルな施設がよい
「減らすこと」よりも、必要な機能を守り、便利で集まりやすい拠点へ再編する

これまでのワークショップのまとめはこちらから



合橋地区コミュニティ

2026 / 2/18 (水) 19:30-21:00
参加者：25名



高橋地区コミュニティ

2026 / 2/20 (金) 19:30-21:00
参加者：11名



資母地区コミュニティ

2026 / 3/3 (火) 19:30-21:00
参加者：18名



民生児童委員の皆さん

2026 / 5/14 (木) 14:00-15:00
参加者：11名



子育て世代の皆さん

2026 / 5/22 (金) 20:40-21:40
参加者：7名



但東中学校3年生の皆さん

2026 / 6/2 (火)・6/8 (火)
11:35~12:25 参加者：23名



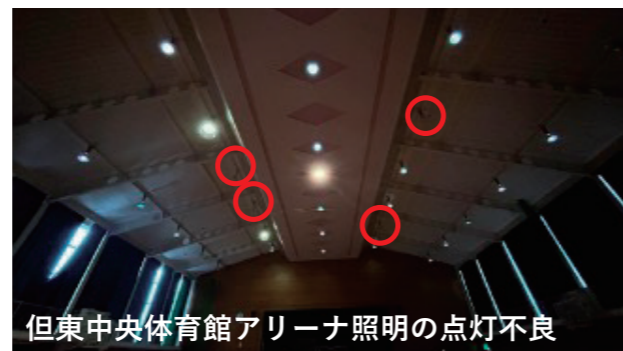
対象となる公共施設の現状調査を実施しました

公共施設のあり方方針を具体化するため、今年度は主に5つの建物の調査を実施しました。

今年度は、但東庁舎、健康福祉センター、中央体育館、資母体育館、但東中学校の5施設を対象に、現地調査と施設管理者へのヒアリングを実施しました。その結果、雨漏りや設備の故障、外壁の劣化など老朽化が進んでいる施設がある一方で、比較的新しく大きな不具合のない施設も確認されました。また、利用頻度の低い部屋や未利用スペースも一定数見られ、施設の規模や使い方に課題があることが明らかになりました。今後は、これらの結果を踏まえ、効率的で持続可能な施設の在り方を検討していきます。



但東庁舎屋上の保護コンクリートのひび割れ



但東中央体育館アリーナ照明の点灯不良

建物	現状
但東庁舎	雨漏りを起因とする不具合が多く、大規模な防水改修工事が必要。施設規模が過大で未利用室が多く、効率的な運用が求められる。
但東健康福祉センター	空調機の故障が目立つ。空調機故障に起因する未利用室が多く、空調機更新により改善できる。
但東中央体育館	経年劣化で老朽化が激しく、建物の利用に支障をきたしている。状況改修には多額の費用が必要と想定される。
資母体育館	経年相応の劣化はあるが、施設利用上の問題点はない。
但東中学校	経年相応の劣化はあるが、まだ施設自体も新しく、大きな不具合等はない。